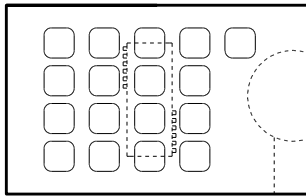


WiRC16と受信側接続（複数）の参考資料

2008/03/23

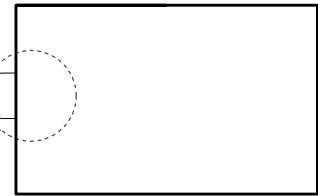
WiRC16使用 有線リモコン



※WiRC16はマイコン単品販売です。

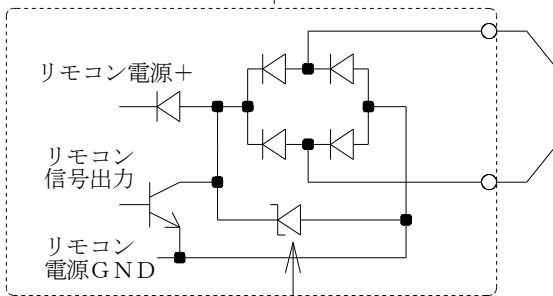
※屋外の敷設は危険です！
★落雷★

受信側 (IRr8)



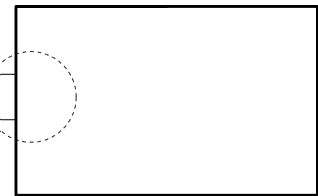
※IRrやIRr8はマイコン単品販売です。

※IRp/IRr用プリント基板が使用可能。
IRr8はIRxPCBVのプリント基板が使用可能。



保護用ツェナーダイオード
5V-1/2W~1W
ケーブル敷設環境が悪い場合設けて下さい！

受信側 (IRr)



※雷対策ではありません！

※回線にコンデンサーは接続出来ません！

受信側 I/F 回路

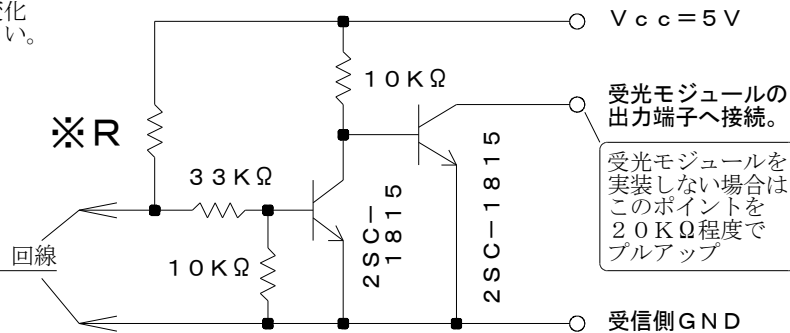
※R ストロングプルアップ抵抗値は並列接続する受信側の数量で変化します。合成抵抗で求めて下さい。

アナログ電話延長ケーブルで50m接続した場合の※Rは470Ωを推奨しております。受信側を2枚並列接続した場合、それぞれ1KΩのストロングプルアップ抵抗にして下さい。

受信側は極性を揃えて並列接続

※Rの調整

送受信接続/マイコン待機時
受信側マイコン
Vcc-GND=5.0V
送信側マイコン (#2-#4)
Vcc-GND=2.7~3.0Vになること。



受光モジュールを
実装しない場合は
このポイントで
20KΩ程度で
プルアップ

- ①使用するケーブルの種類や長さに合わせて※Rや※Cを決め、通信動作確認を十分行って下さい。
- ②屋外敷設の場合は落雷対策を完全に行って下さい！
- ③ケーブルの種類、敷設の場所や方法に合ったノイズ、サージ、静電気等への対策を行って下さい！
- ④並列接続運転でいずれかの電源（5V）供給を停止した場合、予期しない誤動作が発生します。